

熊本空港

【実施主体:個社】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
		委託元からの業務受託料引き上げについて継続交渉	委託元との契約交渉において実態に即した料金設定になるよう継続的に交渉を実施。	
		外航受託料の引き上げ	従業員の賃上げを含む処遇改善に反映できるよう外航受託料の引き上げを行った。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
		イレギュラー発生時の対応について特別料金の設定	各社との契約締結時に諸条件について整理を行い、料金設定を交渉。	
		便の大幅遅延や突然のキャンセル或いは大幅遅延による深夜勤務の料金化	一部の航空会社について、勤務調整が必要になるような大幅な遅延や事前通知なしでの突然のキャンセル、或いは遅延に伴う深夜作業発生時などの料金化を実施。 また、貸し倒れなどの発生を防止するため預り保証金(デポジット)の導入又は貿易保険などを付保。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	

【実施主体:個社】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	社内CS活動としてのFF(Fun Fan)プロジェクトの推進	従業員満足度を高めるためFFプロジェクトを立ち上げた。楽しみながらファンを増やすことをモットーに、働きやすい職場環境を作り、社員が生き甲斐・働き甲斐を感じる毎日を送れるようにすることを目的に活動を行っている。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
		職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	国内定期便のハンドリングに影響が出ないような要員配置となるよう、外航受託においては、航空会社と運行ダイヤ等について事前に調整を実施。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題についての意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。	
		・合同企業説明会への参加 ・インターンシップの受入れ ・派遣社員の受入れ ・アルバイト雇用	合同企業説明会に参加し、積極的な採用活動を実施。また、専門学校や大学からのインターンシップの受け入れも並行して実施。即時の人材確保としては、派遣社員・アルバイトの採用も展開。	
		・賃金ベースの改定 ・年間休日の改定	職員の生活環境を向上させ、同時に競争力を持った採用を進める為、大幅な賃金UPを実施。また、年間の公休日数は110日⇒120日へ増やし、従業員の待遇改善を実施。	
		採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用))	専門学校等に、地元に戻ってグラハンを希望するOBの紹介を依頼するとともに、地元自治体のUターン・Iターン施策に参画。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)			
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	事業所間での人員支援	急激な航空需要の回復に対応すべく、事業所間での支援体制を構築し、全社での対応を実施。	

【実施主体:個社】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備	キャリアパスの提示等	ホームページにキャリアパスを掲示している。 入社教育・階層別研修などの研修機会にキャリアパスの説明を開始した。	
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	同業他社間において、共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
		空港ターミナルビル建て替えに伴い、新事務所/休憩室を設置	大幅な事業拡大を実現する為に、社員の増員ならびにESを向上させる為に事務所ならびに休憩室を確保し、職場環境を改善した。	
		・ランブ業務の負担軽減のための検討 ・社員会・FFプロジェクトを中心とした職場勤務改善の推進 ※FF(Fun Fan)プロジェクト:従業員満足度を高めるための活動	・手荷物搭載業務の負担軽減のためパワースーツの導入等の検討を開始した。 ・社員会・FFプロジェクトを通じてハード・ソフトの両面から職場環境の改善に努めている。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	特定技能制度を活用したスタッフの受け入れ	特定技能登録支援機関と連携し、受け入れに向けた社内体制の整備を実施。	不足している正社員雇用を補うとともにインバウンド拡大 及び 国際線業務拡大に対応
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			

【実施主体:個社】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体や空港ビルとの連携	保安検査、給油、CIQなどの当社受託領域以外の調整状況についても必要に応じ確認しつつ受託準備を実施。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善			
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会 等)	公式Instagramで「空港のお仕事」紹介企画の実施	・空港会社、航空会社、警備会社等を含めた「空港のお仕事」を公式Instagramで幅広く発信。空港で働くスタッフの実像を伝え、興味をもっていただくことを目的とする。	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会 等)	合同企業説明・見学会の実施	・空港内ツアー、駐機場での仕事見学、出展企業による会社・仕事内容説明等を実施	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進	空港WG構成員への情報提供	補助金等について情報周知・共有。	
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			

【実施主体:空港会社等】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化 (人員体制等の正確な現状把握 等)			
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理等)	「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」で紹介された内容の広報	空港WG構成機関へのmailによる適宜の周知	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	空港所在地域の中学生に対する体験学習への協力	航空会社等が主体として受け入れした2校の中学生複数名にたいして、管制官や管制技術管の仕事説明と管制及び航空保安無線施設の見学を実施。なお、グランドハンドリングについては航空会社が見学等実施。	
		「空の日」事業開催	「空の日」実行委員会を主体として、地域への航空振興を重点にリクルート活動としても事務所として管制官のリクルートブースを設置し、その中で中高生を対象に管制官の業務説明、管制施設の見学及びシミュレーター体験を実施。	
		空港内事業者間の相互見学会の開催	グラハン、空港警備、航空機給油事業者の職員を対象に管制施設等の見学会を実施。事務所内職員をターミナル見学会(バックヤード含む)に参加推奨。	
		出前講座の実施	空港に近接する大学等の要請に応じ、航空管制業務の出前講座を実施。	
		女性用休養室の提供	空港会社に所属する女性職員が相次いで退職したことを受け、女性用休養室の区画提供を依頼された。これを受け、現在使用されていない気象女性用仮眠室を当所に所属替えの後、区画提供を行う。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助等)	補助事業の広報・申請内容への助言	他省庁を含めた補助事業のmailによる周知、国交省補助事業の申請内容に対する助言	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】	空港WGの活用推進	空港WG構成員への情報提供	航空局所管に限らず国が行っている補助事業の情報を随時提供している。	職員の省力化や職員募集が促進されている。
		空港WG構成員への情報提供	「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」の進捗状況を随時提供している。	

【実施主体:国】

熊本空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験			
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX 等)	補助事業の広報・申請内容への助言	他省庁を含めた補助事業のmailによる周知、国交省補助事業の申請内容に対する助言	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	空港WG構成員への情報共有	国交省HPに公表された「空港業務DXの推進」資料をもとに空港WGに情報共有を行った。	
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	空港WG構成員への情報共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会における、「空港グランドハンドリングにおける特定技能外国人の受入れ」の提言を空港WGに情報共有を行った。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	空港WG構成員への情報共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会における「空港における旅客の保安検査の実施主体の円滑な移行に向けた実務者検討会の開催状況(報告)」について、空港WGに情報共有を行った。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し	空港WG構成員への情報共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会における「制度的措置の方向性(報告)」について、空港WGに情報共有を行った。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)	空港WG構成員への情報共有	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会における「空港業務における現状と取組状況」について、空港WGに情報共有を行った。	